

一般国道56号

う わ じ ま

宇和島道路

（事後評価）

令和元年10月11日



国土交通省四国地方整備局

1. 事業の目的と概要（1）

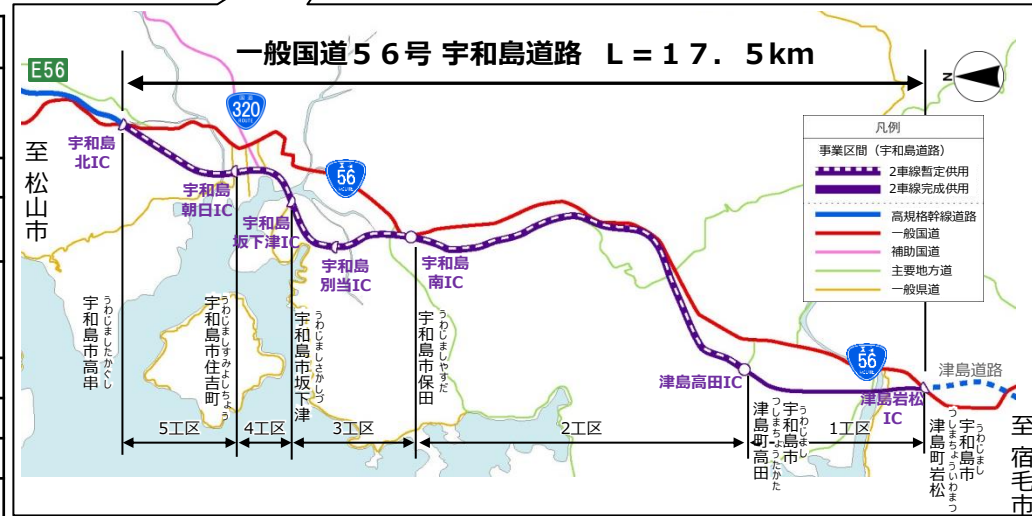
開通後5年経過

■ 事業目的

- 市街地に集中していた交通量を分散させて交通混雑・渋滞を緩和し、安全で円滑な交通を確保する。
- 「四国8の字ネットワーク」の一部として、高規格幹線道路等のネットワーク効果を四国内の隅々まで波及させるとともに、三次医療施設への搬送や、南海トラフ巨大地震等災害時の緊急輸送道路として大きな役割を担う。

■ 計画概要

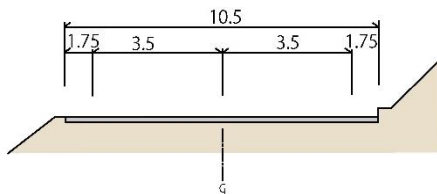
事業名	一般国道56号 宇和島道路		
起終点	自：宇和島市保田 至：宇和島市高串	自：宇和島市津島町高田 至：宇和島市保田	自：宇和島市津島町岩松 至：宇和島市津島町高田
工区	3,4,5工区	2工区	1工区
延長 幅員	延長：6.2km 幅員：10.5m	延長：7.8km 幅員：10.5m	延長：3.5km 幅員：10.5m
構造規格 設計速度 車線数	第1種 第3級 80km/h 暫定2車線	第1種 第3級 80km/h 暫定2車線	第1種 第3級 80km/h 完成2車線
事業の経緯	事業化	昭和59年度	平成9年度
	用地着手	昭和60年度	平成13年度
	工事着手	昭和62年度	平成20年度
	開通年	平成4～17年度	平成21年度



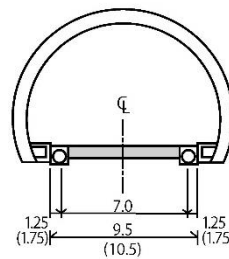
■ 標準断面図

(単位：m)

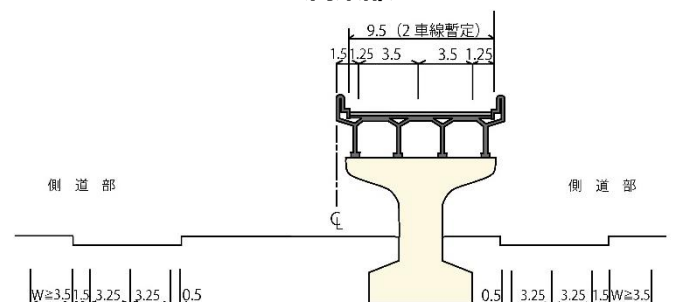
<一般部>



<トンネル部>



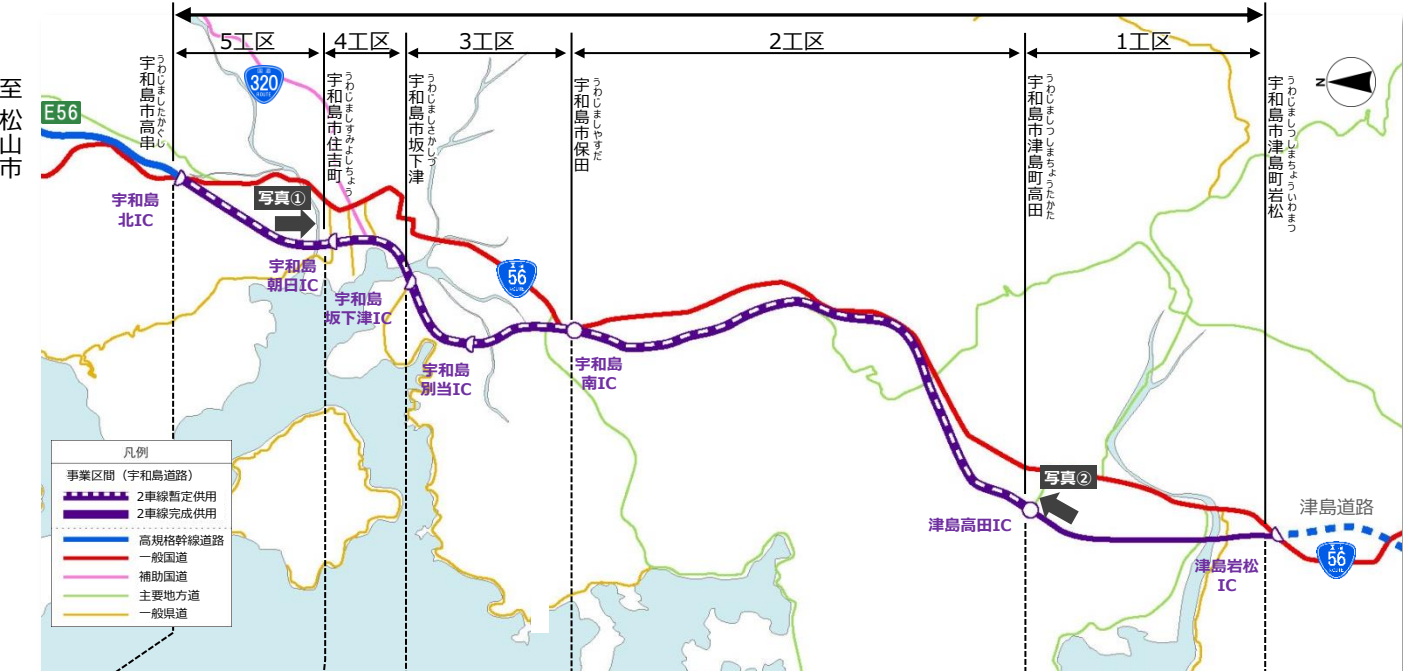
<高架部>



(U内は1,2工区の場合)

1. 事業の目的と概要（2） 事業経緯

一般国道56号 宇和島道路 L = 17.5km



5I区 たかくし すみよしちょう (高串～住吉町)	4I区 すみよしちょう さかしず (住吉町～坂下津)	3I区 さかしず やすだ (坂下津～保田)	2I区 やすだ つしまちようたかた (保田～津島町高田)	1I区 つしまちようたかた つしまちよういわまつ (津島町高田～津島町岩松)	工区
2. 2 km	1. 3 km	2. 7 km	7. 8 km	3. 5 km	延長
平成5年3月 暫定2車開通	平成17年7月 暫定2車開通	平成10年3月 暫定2車開通	平成22年3月 暫定2車開通	平成27年3月 完成2車開通	開通年次

2. 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化

■ 当初計画と開通時の比較

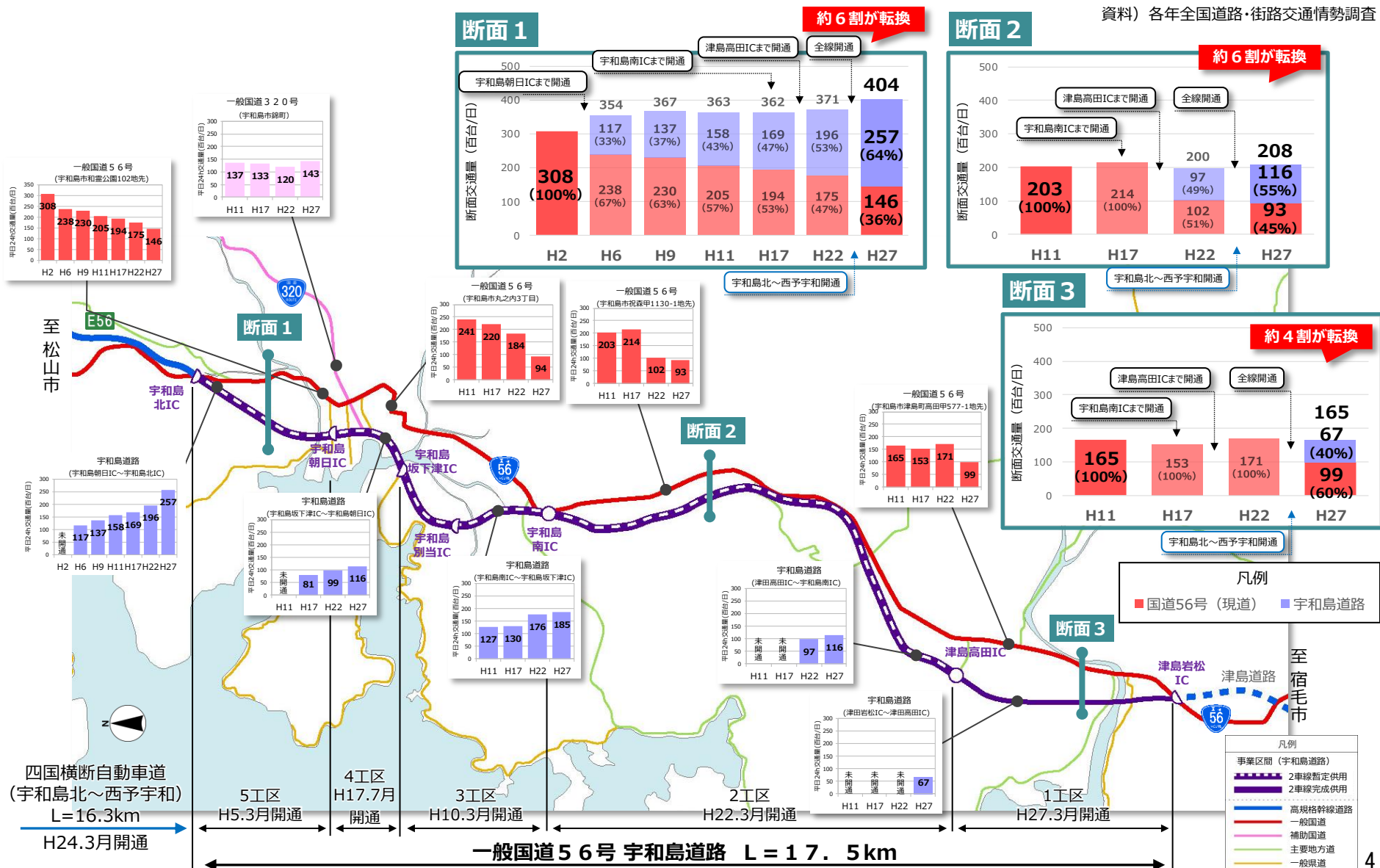
＜一般国道56号 宇和島道路＞

		前回評価時 (H20年度※)	開通後	変化及びその原因
道路 構造等	① 津島高田IC ～ 宇和島北IC	【自動車専用道路】 第1種 第3級 延長 14.0km 4車線	【自動車専用道路】 第1種 第3級 延長 14.0km 暫定2車線	接続する松山自動車道が暫定2車線のため、連続性を考慮し暫定2車線で当面事業完了
	② 津島岩松IC ～ 津島高田IC	【自動車専用道路】 第1種 第3級 延長 3.5km 2車線	【自動車専用道路】 第1種 第3級 延長 3.5km 2車線	H17年度事業化し、完成2車線で事業完了
総事業費		1,822億円	1,417億円	トンネル内空断面の縮小、トンネル内路側排水形状の変更、ランプ部舗装の見直し等によるコスト縮減
交通量		7,200～ 22,000台/日	6,700～ 25,700台/日 〔 7,200～ 16,400台/日 〕	・H20交通量は、H17全国道路・街路交通情勢調査ベースでの推計値 ・開通後の交通量は、H27 全国道路・街路交通情勢調査結果 ・開通後の（ ）内の交通量は、H22全国道路・街路交通情勢調査ベースでの推計値
事業期間		昭和59年度 ～平成41年度	昭和59年度 ～平成26年度	接続する松山自動車道が暫定2車線のため、連続性を考慮し、当面、暫定2車線で事業完了
費用便益比 (B/C)		1.3	1.2	・基準年の変更 (H20、R1) ・費用便益分析マニュアルの改訂

※：前回評価時は、最終的な事業区間や事業費が決定した平成20年度の値を記載

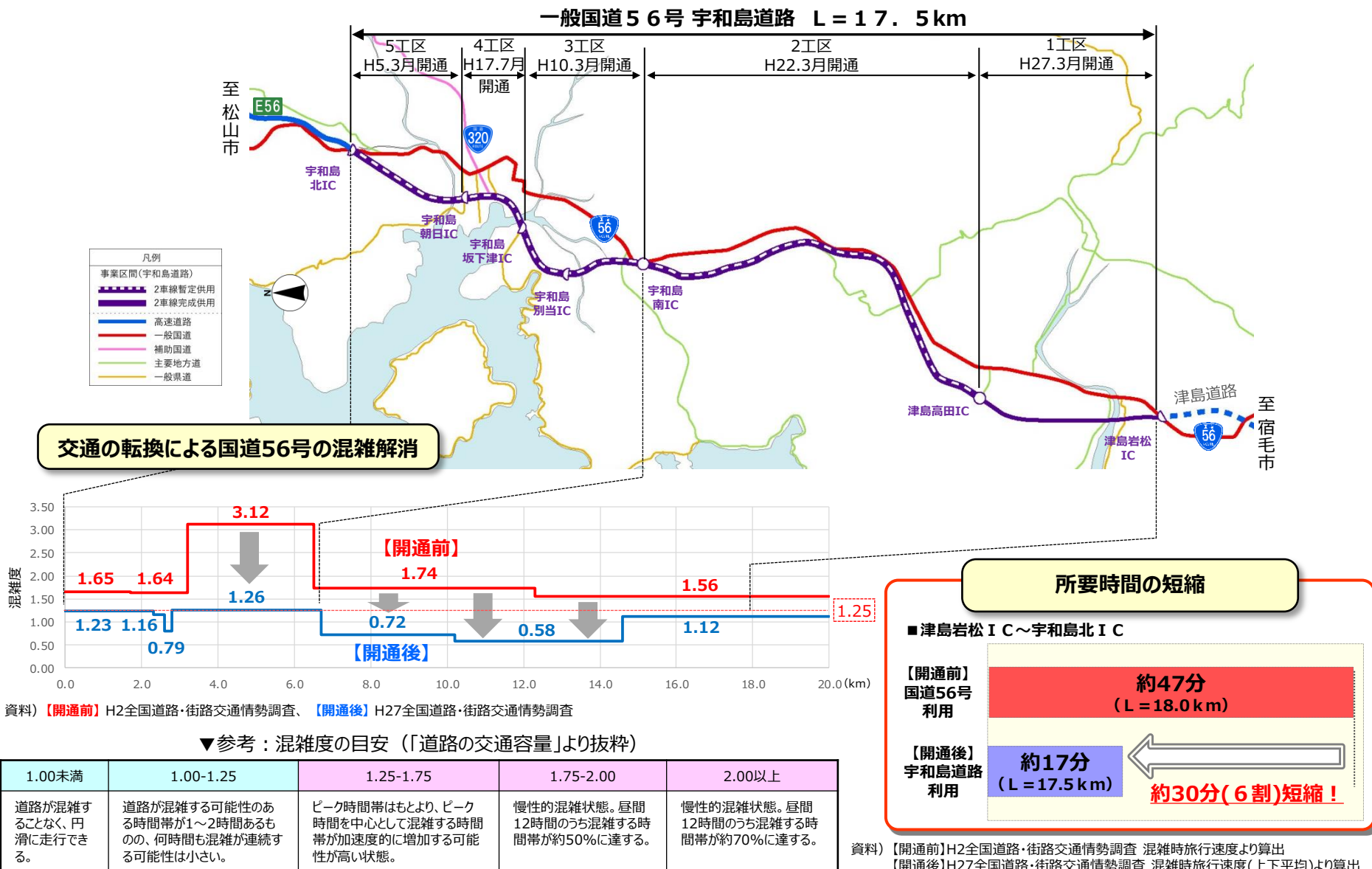
3. 交通量の変化

- 国道56号の交通量は**宇和島道路に約4～6割が転換**し、宇和島道路を利用する交通量は**6,700～25,700台/日**であり各区间ともに開通に合わせて利用交通量は増加。



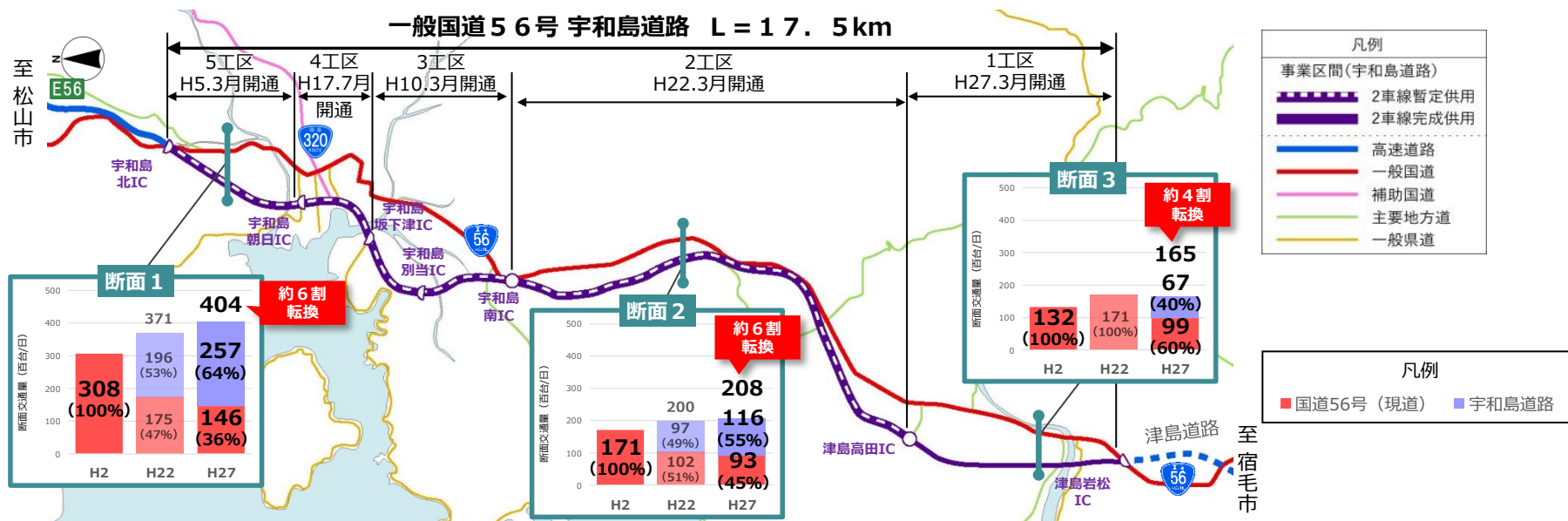
4. 事業効果の発現状況 (1) 混雑解消

- 宇和島道路への交通の転換により、**国道56号の慢性的な混雑が解消**。
- 津島岩松ICから宇和島北ICまでの17.5 kmの所要時間は、開通前と比較して**約30分（約6割）短縮**。

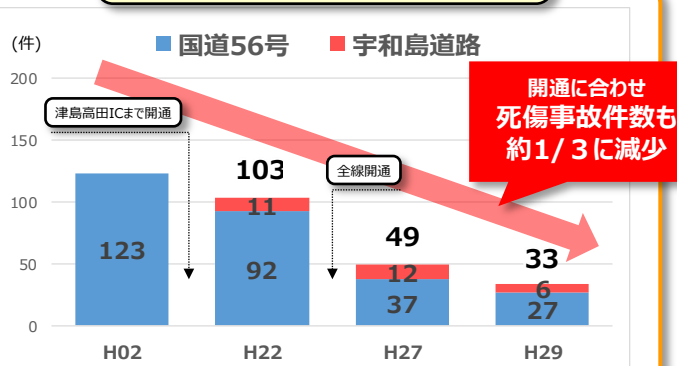


4. 事業効果の発現状況 (2) 沿線地域の安全性向上

- 宇和島道路の開通により、国道56号の交通量は**宇和島道路に約4～6割が転換**し、平成27年では9,300～14,600台/日に減少。
- 宇和島道路の開通により、国道56号と宇和島道路を合わせた**死傷事故件数は約1/3に、死傷事故率は約1/4に減少**。
- 暫定2車線の対面通行区間では、逸脱防止のため土工部の車道中央部に**防護柵設置による安全対策を実施中**。

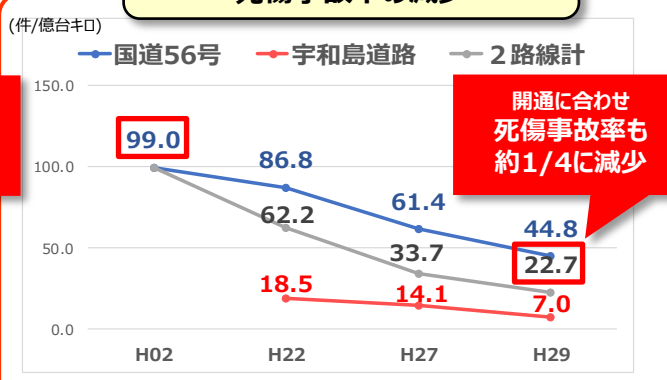


死傷事故件数の減少



資料) H02交通事故統計原票、H22-H29イタルデータより

死傷事故率の減少



資料) 事故件数: H02交通事故統計原票、H22-H29イタルデータより
走行台キロ: 各年全国道路・街路交通情勢調査より (H29はH27値を使用)

▼車道中央部に防護柵設置 (別当IC付近)



4. 事業効果の発現状況 (3) 南海トラフ巨大地震等災害発生時の緊急避難路の確保

- 宇和島市は、南海トラフ巨大地震発生約4分後に津波が到達し、最高津波水位は10.1m、津波浸水による死傷者想定は約千五百人と甚大な被害が想定されている。
- 宇和島道路の開通により、**津波浸水を回避し、広域道路啓開のための進出ルートを確保**するとともに、宇和島道路では、津波災害時の**緊急避難路3箇所と緊急進入路2箇所を設置**しており、信頼性や安心の確保に大きく寄与している。

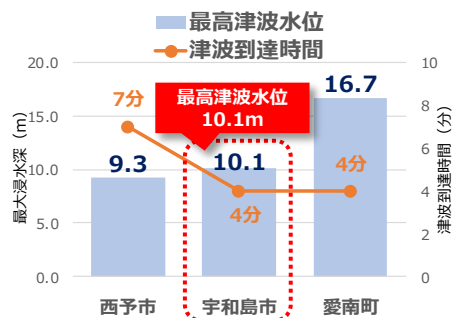
▼四国おうぎ（扇）作戦における役割

宇和島道路は広域応援部隊が太平洋側へ進出するための「進出ルート⑧」にあたる

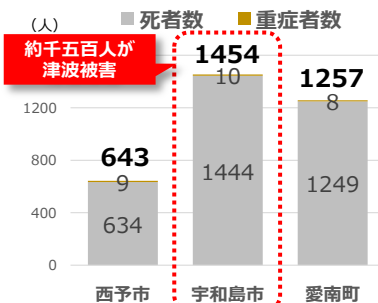


資料) 四国道路啓開等協議会「四国広域道路啓開計画」(平成28年3月)

▼最高津波水位及び到達時間※



▼津波浸水による死傷者想定



※±0.2m高さの津波到達時間 資料) 愛媛県地震被害想定調査結果 最終報告 (H25.12月)

▼緊急避難路としての宇和島道路

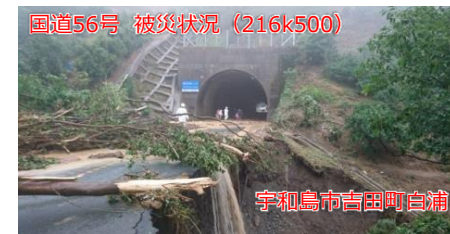
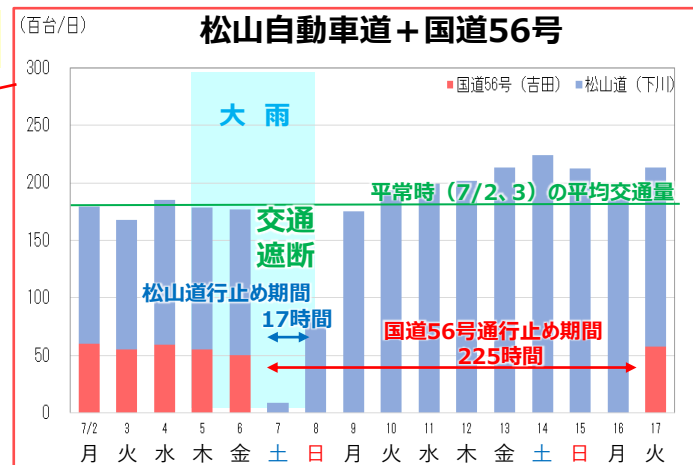


資料) 愛媛県地震浸水想定調査結果 第一次報告 (H25.6月)

4. 事業効果の発現状況【参考】

H30. 7月豪雨の災害における
松山自動車道等(宇和島北～西予宇和)の効果

- 平成30年7月の豪雨により、宇和島市吉田町の国道56号では、斜面崩壊や路面陥没などの被災があり、**225時間の全面通行止め**が発生。並行する**松山自動車道**は小規模土砂流出を早期に除去して**17時間で通行止めを解除**し、地域への影響を最小化。
- 松山自動車道と国道56号の**ダブルネットワーク**は、**復旧や救急などの地域間移動を確保する命の道として機能**。
- 宇和島道路も同様**に、並行する国道56号とのダブルネットワークにより、災害や南海トラフ巨大地震発生時に復旧や救急などの地域間移動を確保する**命の道としての役割に期待**。



松山自動車道と国道56号のダブルネットにより地域間の移動を確保



【バス事業者の声】

宇和島～大阪、松山間を結ぶ高速バスは、通行規制区間の代わりに松山道を走行し運行を再開した。運行再開時、高速バスが通れる迂回路は松山道以外は通行止めになっていたため、松山道がなければ運行が再開できなかった。



4. 事業効果の発現状況 (4) 地域産業の活性化

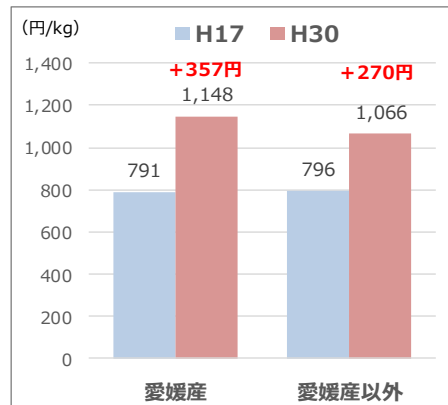
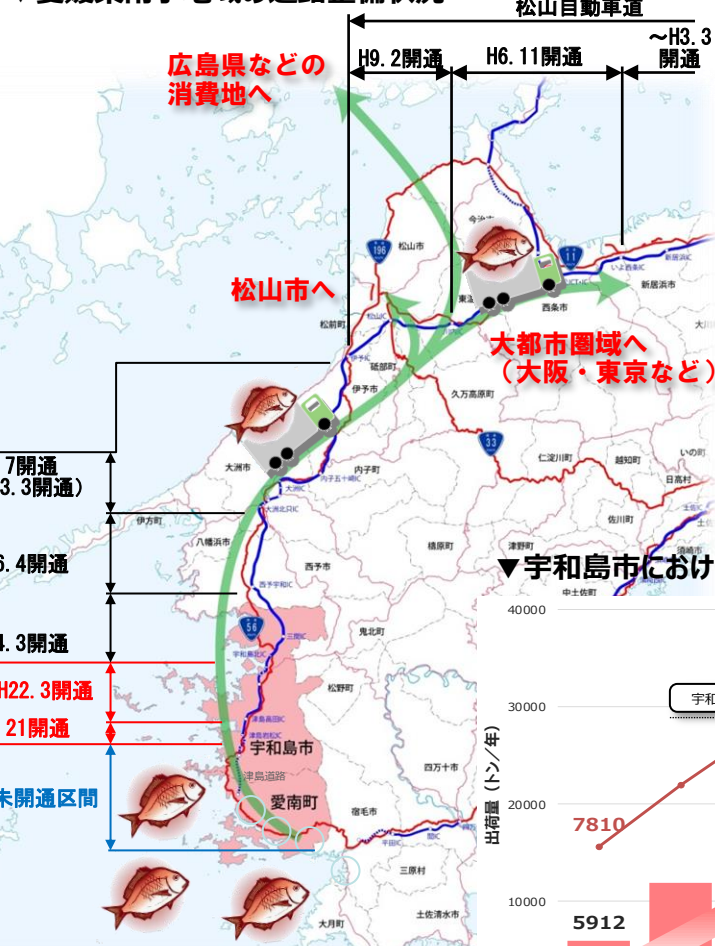
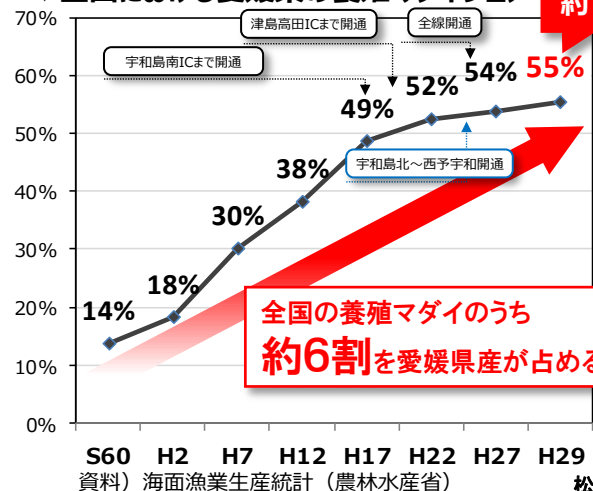
- 愛媛県ではマダイの養殖が盛んで全国シェア第1位、**全国の約6割を出荷**。特に**宇和島市・愛南町**ではその**9割を占める**。
- 高速道路の整備により、東京や大阪などの大消費地への販売が拡大。シェアの拡大とあわせ、**愛媛県産の養殖マダイの評価も上昇**、**宇和島市の出荷額は開通前の約2倍に増加**。宇和島道路は、主要産業を支える交通基盤として地域活性化に寄与。

▼全国における愛媛県の養殖マダイシェア

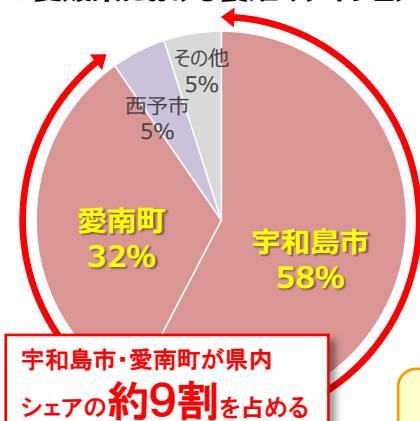
約6割

▼愛媛県南予地域の道路整備状況

▼愛媛県産養殖マダイの平均価格



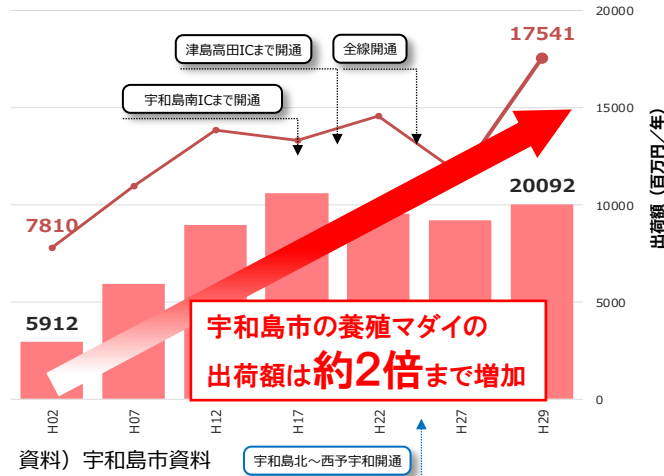
▼愛媛県における養殖マダイシェア (H29)



関東・関西を中心に養殖マダイやハマチを出荷しているが、**高速道路の整備による時間短縮で活魚への負担軽減や鮮度保持も図られ、新たな市場開拓につながる可能性がある。**(漁協関係者)



▼宇和島市における養殖マダイの出荷量・出荷額の推移

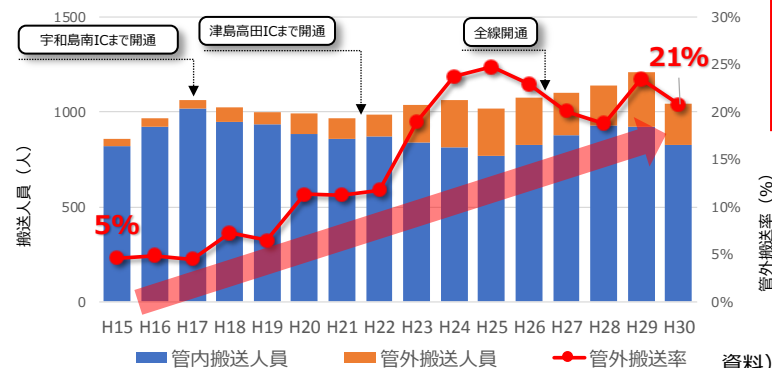


4. 事業効果の発現状況 (5) 地域医療体制を支援

- 愛南町の病院では医師不足により、平成23年度より**麻酔科・脳神経外科医が不在で緊急手術に対応できない状況**。
- 愛南町の**管外搬送率は約2割に達し**、そのうち、**約7割が市立宇和島病院などの宇和島市へ搬送**。
- 宇和島道路は、**搬送時間を短縮**するとともに**安静搬送を可能**とし患者等の負担軽減に効果を発揮し、**地域医療に大きな役割を担っている**。

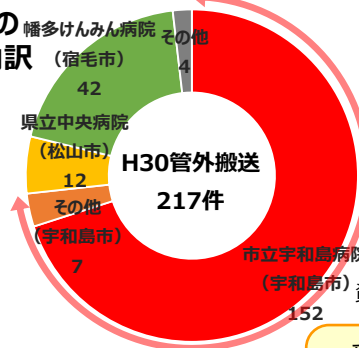


▼ 愛南町の救急搬送件数の推移



資料) 愛南町消防本部

▼ 愛南町からの管外搬送内訳



資料) 愛南町消防本部

▼ 所要時間の変化

■ 愛南町役場～市立宇和島病院

【開通前】
国道56号利用

約76分

【開通後】
宇和島道路利用

約47分

約30分(4割)短縮!

資料) 【開通前】H17全国道路・街路交通情勢調査 混雑時平均旅行速度より算出

【開通後】H27全国道路・街路交通情勢調査 混雑時平均旅行速度(上下平均)より算出

愛南町の基幹病院である**県立南宇和病院は、医師不足により、麻酔科・脳神経外科の医師が不在であり、救急手術ができない状態**となっています。

そのため、**管外への救急搬送が増加しており、約7割が宇和島市への搬送**となっています。

緊急度・重症度の高い患者さんにとって、**所要時間を短縮し、安静搬送を可能とする宇和島道路は命の道**となっています。

(愛南町消防本部)



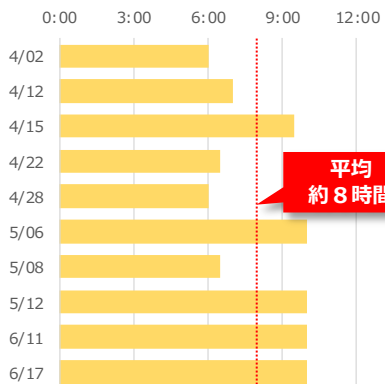
4. 事業効果の発現状況 (6) インバウンド観光を支援

- 宇和島港は西日本クルーズの中継地として好立地。変化にとんだリアス式海岸や宇和島城などの風景も人気の要因。
- 高規格幹線道路の整備により、**所要時間の短縮・定時性が確保され**、宇和島港から周辺観光地への**様々なオプションツアーが実現可能**となった。
- クルーズ船客を含めた内子町の外国人観光客は約6000人に増加。また、**宇和島道路を利用した南楽園へのオプションツアーも企画**。

▼宇和島港のクルーズ船とツアーバス

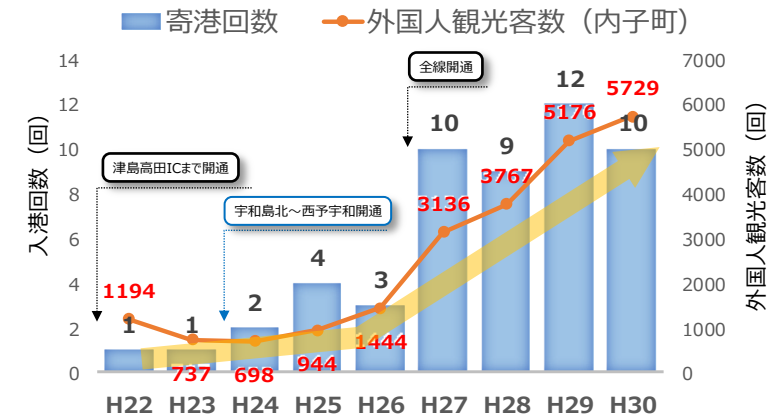


▼クルーズ船の滞在時間



資料) H30愛媛県港湾管理課

▼宇和島港への寄港回数・外国人観光客数(内子町)の推移



資料) 寄港回数: 愛媛県港湾管理課、外国人観光客数: 内子町



【内子町を散策する外国人観光客】
(内子町・町並み保存地区)

クルーズ船の滞在時間が短いため、宇和島城など宇和島市内や、高速道路の使える内子町の町並み散策などが人気です。

宇和島道路の開通に伴い、**所要時間短縮**とあわせ、決まった時間に戻れる**定時性も確保**される様になり、**昨年ごろから、南楽園の日本庭園もオプションツアーに加えられました。**
(地元バス会社)

ツアーは**片道30分程度が周遊エリア**なので、更に移動時間が短縮すれば**南予地域の新たなツアーを企画**できます。
(クルーズ船ツアー会社)

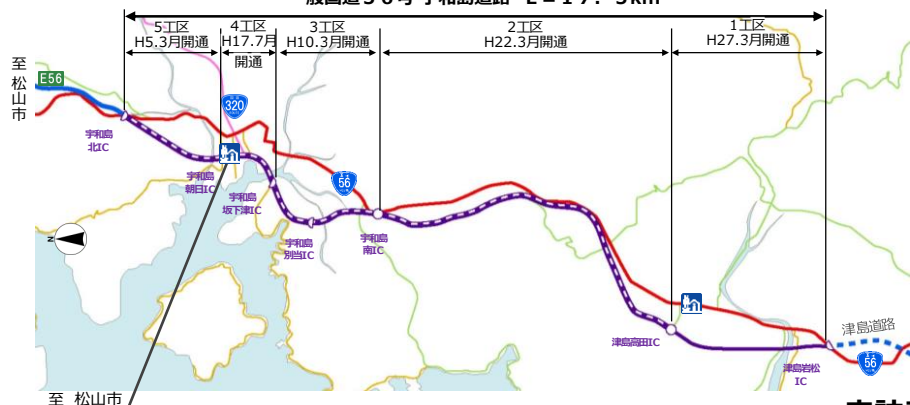


4. 事業効果の発現状況 (7) 地域経済の活性化を支援

- 地域の主要拠点である「道の駅ささいや広場」では、宇和島道路の整備とあわせて、**レジ通過人数・売上実績も増加傾向**。
- 道路延伸による所要時間の短縮に伴い、**松山方面からの来訪者、日帰りドライブ目的での来訪者が増加し**、中予～南予地域の交流人口が拡大。

▼宇和島道路の開通と道の駅登録時期

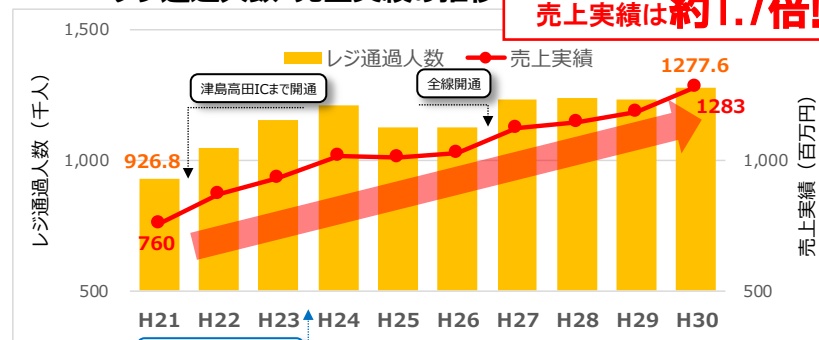
一般国道56号 宇和島道路 L = 17.5km



宇和島道路の開通とあわせて
沿線に道の駅が
整備された



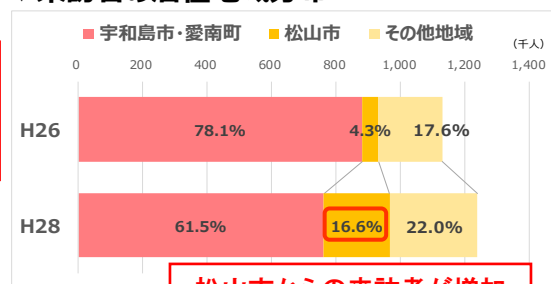
▼道の駅ささいや広場における レジ通過人数・売上実績の推移



レジ通過人数**約1.4倍!!**
売上実績は**約1.7倍!!**

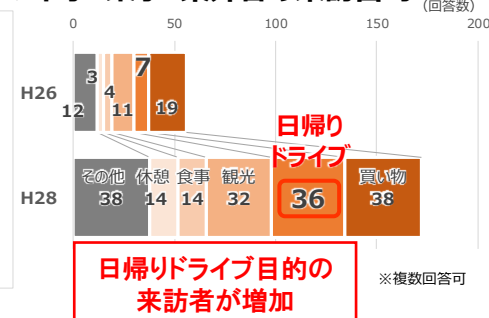
資料) 道の駅ささいや広場資料より (各年4/1-3/31)

▼来訪者の居住地域分布※



松山市からの来訪者が増加

▼中予・東予・県外客の来訪目的



日帰りドライブ目的の
来訪者が増加

資料) 道の駅ささいや広場アンケート調査資料より (H26・H28 各年11月平日・休日1日)
※居住地分布は平日・休日アンケート回答者の割合をもとにした推計値

高速道路の整備とあわせて、平成21年にささいや広場はオープンしました。
宇和島市内だけでなく、**遠方からのお客様に来訪いただくようになり、レジ通過人数・売上実績ともに増加傾向**です。
特に最近では、**松山市方面から南予地域に訪れる方が増えており、ささいや広場に立ち寄られる方も日帰りドライブを楽しまれる方の割合が増えています。**
(道の駅 ささいや広場)



5. 今後の事業評価の必要性等

今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性

一般国道56号 宇和島道路の開通により、現道の混雑の解消による安全・安心の確保、信頼性の高い緊急輸送道路の確保、広域連携の強化や交流の促進による地域の活性化など、事業目的に見合った効果が確認できていることから、今後の事後評価および改善措置の必要性はない。

同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性

事業前・事業後の整備効果に関して統計指標、ヒアリング等を用いて、整備効果の確認が来ている。現時点では、同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性は見られない。